

平成二十八年度

文責 上村公之

玉東中学校便り

【その時、どう動く】

第十二号 平成二十九年二月二十二日

漢字でこれからの 目標を表現しました。

二月十日、中央公民館で立志式を行いました。十四歳は昔で言えば元服の年で、二年生にとつては将来への志を自覚し、新たな気持ちで出発しようとする節目の年でもあります。

この日を迎えるに当たり、二年生は「自分の目標とする漢字」を考えました。そして、「自分が改善しなければいけない点」や「将来の目標」などについて綴った文章を百五十字程度にまとめ、一人ずつ演台に立ち保護者に向けて堂々と発表しました。最後には、今まで育ててくれた感謝の気持ちを込めて、その作文を保護者に手渡しました。



立志の誓いを述べる坂村さん



「ありがとう お母さん」

当日は、来賓を代表して前田町長様から、「目標を見失うことなく努力を続ければ、夢は必ず叶うこと」「かけがえのない友を大切にすること」など話していただきました。また、保護者代表の中村様からは、成長していく我が子に対する思いを語っていただき、親の深い愛情に心打たれました。二年生にとつて、今後の学校生活やこれからの生き方を考える貴重な時間となった立志式でした。

今がチャンスと思ったら、 まずトライしてみよう！

立志式に引き続き、全校生徒とその保護者が一堂に会して親子講演会を開催しました。今年度は、誠修高等学校 校教頭 高倉 智晶様を講師として迎え、「なりたい自分になるために」という演題で「ものの見方と行動」について話していただきました。ユーモアを交えた軽快な語り口に思わず引き込まれてしまい、あっと言う間の一時間でした。



講演される 高倉 智晶 氏

『一つの事象でも人によって見方は様々なこと』『ものの方しだいで人の行動は変わる』『機会を逃さずに行動に移すことの大切さ』等：生徒だけでなく保護者にとつても、改めて自分のものの見方や考え方、行動パターンなどを振り返り、見直すいい機会となりました。親子共に多くのことを学ぶことができました。

生徒会活動スローガンは Identity(アイデンティティ)

二月二十一日、新生徒会執行部による第一回生徒総会が開催されました。まず生徒会三役が、平成二十九年の生徒会スローガンと、三つの「あい」について説明しました。

生徒会スローガン「Identity」には『主体性』という意味があり「状況に応じて自分の意思や判断で行動できる生徒になろう」という思いが込められています。三つの「あい」の一つ目は、自分自身を大切にすると共に、周囲を大切にするという愛情の「愛」です。二つ目は、互いに助け合うなど、相手のことを考えた行動ができる相手の「相」です。三つ目は、生徒一人一人の主体性を合わせ、集団の主体性を高めて学校行事などに取り組んでいきたいという合わせるの「合」です。

その後、各委員会から、年間目標・目標達成のための手立て・常時活動や月ごとの活動の発表がありました。その発表に対して、各学級から質問や意見が出されました。発言した生徒は五十名以上に上り、委員会活動を通して、自分達の手で学校を更に良くしていきたいという思いが強く伝わってきました。生徒会活動の更なる発展を期待しています。



スローガンを説明する執行部